

毎月11日は

防災を**考**える日



令和2年8月号

「土用波に注意しましょう」

■土用波ってどんな波？

昔から、夏から秋にかけて太平洋に面した海岸に押し寄せる高い波（うねり）を「土用波」と呼んで高波に対する注意を促していました。これは、この時期の台風が太平洋高気圧の周りをまわってから日本に近づくので、その前うねりの方が早く日本にやってくることを言ったものであり、十分に注意が必要です。



波は、風によってその場所に発生する「風浪（ふうろう）」と、他の場所で発生した風浪が伝わってきたり、風が静まった後に残された「うねり」の2つに分類されます。そして、風浪とうねりを合わせて「波浪（はろう）」と呼びます。

〔「台風に伴う高波」(気象庁ホームページ)を加工して作成〕

■防災基礎クイズ

Q 4mから6mの波を「しけ」、6mから9mの波を「大しけ」、では、9mをこえる波を何というでしょう？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesennuma.miyagi.jp

(11/11/2020)